

茨木支援学校進路指導方針

茨木支援学校では、進路指導とは下に示す3つの取り組みの総称であると考えています。

- ① 生徒一人一人の社会的自立をめざし、卒業後の生活において心身ともに質的に豊かな生活（ＱＯＬ＝クオリティ・オブ・ライフ）がおくれるよう学校、保護者、関係機関が連携してその実現を目指す、協働の取り組み。
- ② 生徒自身、あるいは保護者が卒業後の生活への見通しや目標を持ち、生徒自ら進路先を選択できる力をつけていけるよう指導、支援する取り組み。
- ③ 生徒一人一人のニーズに応じて、地域の中で「生活する場」や「はたらく場」が利用できるよう福祉サービスの整備や生活の支援を行う諸機関との繋がりを作ったり、一般企業での障がい者雇用の拡大や就労を定着していけるよう支援体制の確立をしたりするなど、ネットワークをつくり、卒業後一人一人にあった生活の場が提供できるようにする取り組み。

上記①～③の取り組みを行うために、次のことに重点を置いて進路指導に取り組んでいます。

- ① 卒業後どんな「場」でどんな力を伸ばしていったらよいか、生徒それぞれの課題や要求（ニーズ）を踏まえ「卒業後の生活の場（進路先）」を選んでいけるよう支援します。
- ② そのために、児童生徒への指導の充実を図り、卒業後の生活に向けて必要な力となる「生活の力」「学ぶ力」「はたらく力」「人とかかわる力」「余暇を楽しむ力」「自己決定する力」など社会の中で主体的にたくましく「生きる力」を育てます。
- ③ 保護者や関係機関と連携して進路保障に向けた多様な取り組みを行います。

